地方創生テレワーク交付金・デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の実施状況等(令和6年度実績)

事業名	事業概要	担当課名	DO:11 00		事業費(円)		Doit W		384 A.L.		KPI(重要業績		no fritte +	D7/F#F	20/F###	【令和6年度】 事業内容と事業評価
	第2期阪南市総合戦略に掲げる重点施策である『移住・定住の支援』として、		R3次昇	R4決算	H5次算	R6予算	Htt决非		単位	目標値	R4年度末 1	R5年度末 3	R6年度末 5	R7年度末	R8年度末	多様な働き方の推進等に資する場を提供することにより、地域社会の活力の向上を図ることを目的として
	東京圏や大阪都市圏等の離れて働く方に対して、サードブレイスづくりの支援として、テレワークスペースを提供するため、市役所の食堂跡地に「(仮称)阪南テレワークステーション」を整備する。							サテライトオフィス等施設を利用 する企業数	社·団体	実績値	1	1	1			市役所地下に設置された「阪南テレワークステーション」の管理・運営を行いました。施設の認知度をアップするため、令和4-5年度に引き続き随時見学希望に対応し、庁内の移住定住促進事業・産業政策の担
										達成率目標値	100%	33%	20% 3			ブオるため、今和4-5年度に引き接き随時見学希望に対応し、庁内の移住定住促進事業・産業政策の担当部署、阪南市観光協会、阪南市耐田、全と連携し、境外の企業等への情報発信を行うとともに、本志と自結連構協定を行っている企業や各種公民連携事業の企業とのネットワークも活用し、プロモンコン活
	都市圏の企業等もの接触の機会を増やし、関係性の構築に努める。 「(仮称)阪両ドワークステーシュノの登帳により、東京圏及び振展都市圏 等の企業が一定期間、阪博市に拠点を移し、業務を行うことで、阪博市で働く 暮らすことの製力を修験できることに加え、生産性やQOLの向上が実現できる まちとしてのイメージの効果的な情報発信を通して、企業誘致や移住定住につ かばる。							サテライトオフィス等施設を利用 する企業における、所在都道府	社·団体	実績値	1	1	1			」動を行いました。令和6年度は、市役所周辺で開催するイベント時にブース会場としても活用し、多くの方 に施設を知っていただく機会となりました。また、市役所共通使用封筒に施設PRのデザインを入れること
								県外の企業数		達成率	100%	50%	33%			が一般を行いました。令和年度は、市役所周辺で開催するイント時にブース会場としても活用し、多くの下 施設を知っていただく機会となりました。また、市役所共通使用封側に施設中のデザインを入れること できなるる認知度アッチを回りました。利用者教が日標をきえく下回った理由としては、新型コロナウイル ス感染症による移動制限等が無くなったことにより、テレワークそのものの件数が施設整備時見込み数よ
		まちの活力創造課 (R6:シティブロモー ション推進課)	41,786,866					サテライトオフィス等施設の利用		目標値	1,416	2,640	4,560			「競手機能」であったことが考えられます。利用者の約66%は市内在社會で、近隣に同様の施設が少ないこともあり、市内、近隣市局在社會、帰省中の方のテレラークペースや、出版で実施した方の事務がかないこともあり、市内、近隣市局在社会、帰省をプレラーでは大変満足、遊犬の目部にた人が97%、お売り利用でルラーでは大変満足、遊犬の目部にた人が97%、さんから、多林な観き方の遊人に七塊切ら機性の自上につなかっている。 したと考えます。引き続き利用者・一人の形態に努め、リビーラ、提得に努めるととともは、大阪市内や
	①移住体験:海や山のロケーションと、大阪市や空港へのアクセスの良さを活かし、東京圏や大阪都市圏等の人材に阪南市で働き・暮らし・交流する体験の			6 1,308,802	2 664,024	684,000	669,000	サテライトオフィス等施設の利用 者数	Α.	実績値 達成率	522 37%	585 22%	626 14%			場所として一定数需要があります。利用者アンケートでは大変満足・満足と回答した人が91%、また利用
	場を提供 「創業を指、東京圏や大阪都市圏等の人材による移住体験を進にした阪南市 での暮らしの特報発信 ジステスト ジステスト また、市外企業の進出を促すため、市外の企業に対して、進出支援金を支給 する。							サテライトオフィス等施設の利用		目標値	34	34	55			ものと考えます。引き続き利用者ニーズの把握に努め、リピーター獲得に努めるととともに、大阪市内や 関西空港、最寄り駅からのアクセスの良さを生かし、更なる情報発信、利用促進を図る必要があります。
								サテライトオフィス等施設の利用 者における、所在都道府県外の 利用者数の割合	96	実績値	9	7	8			- 国西王彦、政等で駅からのアクセスの氏さどエかし、美なる情報先指、利用促進を図る必要があります。
								利用自致の割合		達成率目標値	26%	21%	15% 10			
								移住者	Д	実績値	0	5	0			
										達成率	#DIV/0!	0%	0%			
	地域のデジタル化により、以下の3つの事業を一体的に取り組むことで効果的に地域のデジタル化を推進します。							地域デジタル支援アプリの加入		目標値	1,000	1,600	2,400			「地域デジタル支援アブリ」である電子回覧板(連絡網機能、グループウェア機能、地域情報配信機能等) ・本導入及び利用促進に取り組んだ。
	①自治会連合会等の地域団体が、新しい生活様式を取り入れながら感染防止と地域活動の面立を図ることができるよう、本市と自治会連合会等の地域団体							世帯数	世帯	実績値達成率	32	100	221 9%			また、補助団体は2団体、市内では合計3団体となった。その導入した団体にあっては、迅速な情報提供、 役員の負担減に寄与している。
	というないでは、 及び事業者との協定を締結し、5地区程度のモデル地区において、スマートフォ ンやタブレットを活用した「地域デジタル支援アブリ」である電子回覧板(連絡網			2,056,585	5 151,134	4 335,000	240,350			目標値	70	75	80			
	機能、グループウェア機能、地域情報配信機能等)を導入します。 2地域デジタル支援アプリでは対応できないオンライン会議などについて、コロナ禍においても市民活動が活発にできるよう、市民活動・地域交流の拠点や市							地域デジタル支援アプリの利用 者満足度	L	実績値	70	83	75			
	は、アントンは、アントは名が、ことはなり、アントンを強なことという。 ・一緒においても市民活動が活発にできるよう、市民活動・地域交流の拠点や市 民活動のコーディネーター役を担う地域交流館(市民活動センター含む)にオン							I AAAA		達成率	100%	111%	94%			
2 地域DX推進事業	民活劇のコーナイネーダーを企出が写現文画版(由店店劇でジター電ぐ)にオンインやリモード店動(例えば、店店長勤の金舗やイント、井戸峰会議、市民活動のコーナイネート等)ができる環境を整備します。 「別事業のSSALに、大手高信会社と市民活動センターとが連携し、「スマホ湾・産送を開催するとともに、まちつく)ブラットフォームの形成に質する「地域デジタル人村」の背板に取り組みます。							地域交流館(市民活動センター	件	目標値	14	50	100 65			
								の含む)においてオンラインやリ モートで活動した件数		達成率	140%	104%	65%			
								地域交流館(市民活動センター		目標値	70	75	80			
								含む)においてオンラインやリ モートの利用者満足度	96	実績値 達成率	91%	78 104%	83 104%			
								DXによる災害時要援護者安否 対象者数		建成华 目標値	0	50	100			
										実績値	0	0	0			
										達成率	#DIV/0!	0%	0%			000/Freit FREIT TUHFROZEN 7 - 1 0 TREITER - 7 - 1 1/2 - 2
	市民生活のデンタルに指案と階数申込時の窓口滞在時間の減少を含めた料 用者の料価性にと図るため、公民総「保命・実品」で、日本的、スペーツに (総合体育館、中央連動に集。市立デースマート、条規総合グラントバデニス コート書きり、港南をグラウンド、スペーシー、地域で譲渡、市居活動をレクー の使用中部等につイン・バッテンシールであた。 は、カース・バッテンシールであた。 が促進された実際である。 が促進された実際である。 に加えて、公民総立でもインターメット等が可能とし、さらに、施設使用料 の変更が、またステムの導入により、すでにインターネットから予約ができるとスペーツ施設 に加えて、公民総立でもインターメット等が可能とし、さらに、施設使用料の 支払いについては、オンラインメ素が利用できることなど。 またステムの導入では、オンラインメ素が利用できることなど。 また、ステムのデンタル機関・スペートを対し、 を表した。 できている。 できている。 できている。 は、また、大学のできない。 できている。 は、また、大学のできない。 は、また、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため				4,620,000	4,620,000		予約システム登録の公共施設 利用者数		目標値	224,000 285,642	224,000 249,693	279,000 254,746			2024年度は、年間を通して公共施設の予約システムの運用を実施することができた。 予約システム開始から2年が経過し、利用方法についても定着し、おおむね満足いただいていると考え
		中央公民館		18,150,000				利用者数	^	達成率	128%	111%	91%			る。 「スマホ講座」は前年度までに基礎的な講座を実施しており、2024年度は「動画編集」や「、防災」と
										目標値	160	230	300			いったステップアップした内容であったことが参加人数減少の要因と考えられる。 引き続き、全くの初心者からレベルアップまで、内容を幅広く捉えた講座を実施する必要がある。
								「スマホ講座」等の参加者数	,	実績値 達成率	165	154 67%	85			高齢者には、必要に応じて予約システム利用方法を個別に支援しているため、利用に支障は生じてい ない。
3 公共施設の使用申請 等オンライン化事業							4,620,000			達成半	103%	67% 50	28% 80			
								00 利用申込窓口以外の割合	96	実績値	2.7	45.7	70			
1000000								予約システムの利用者満足度		達成率	54%	91%	88%			
										目標値 実績値	70 73.3	75 71.4	80			
								アミンスノムの利用目測定及	ı	達成率	105%	95%	90%			
										沒機條						
										実験値 塗殻革						
	市民が地域に削りを持って書らずため、地域の間性を形成する歴史や文化の 大切技ど開始し、またらを授権、保存・組集する動態が成められない。 は有機的では、は、地域の歴史を表現を表現を表現を表現を表現を表現を いった機にある。 そして、本事等には、少地域の歴史を主意が概要されず、伝統変化が影響と 活動を行うことを創むして、市条例に基づく開定文化能の文料やも写真でデジ が構造のでは、単ならを共和の歴史を表現を表現を表現を表現を表現を 活動を行うことを創むして、市条例に基づく開定文化能の文料やも写真でデジ が表する。 本アーカイブは、単ならを共和の歴史化にとどまっす。学校教材、生涯学習講 報要する。 本アーカイブは、単ならを共和の歴史にしてとどまっす。学校教材、生涯学習講 を表する。 本アーカイブは、単ならを共和の歴史化にとどまっす。学校教材、生涯学習講 を表する。 本アーカイブは、単ならを共和の歴史化にとどまっす。学校教材、生涯学習講 を表する。 本アーカイブは、単ならを共和の歴史化にとどまっす。学校教材、生涯学習講 を表する。 本アーカイブは、単ならを共和の歴史にといる場合といる。 本アーカイブは、単ならを表現の歴史を表現を表現を表現を表現が 版で、各種文材を実施に見たり、機れたりすることができる市屋支資料展示 財務できる。 第二次年の一般で表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現 財際できる。 第二次年の世界を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	を て も ジ :		11,780,560		00 528.000		文化財デジタルアーカイブの認 知度 文化財デジタルアーカイブの年 間アクセス教	:::::::::::	目標値	20	30	40			令和6年度上半期の文化財展示等で市民に周知したことで、認知度及びアクセス数が向上したと考え
					0 528,000				96	実績値	4.2	15	22			
										達成率	21%	50%	54%			○ 小学校の郷土学習について、小学校3年生の「昔の暮らし体験」に関連して活用してもらうことができたが、活用製は伸び悩んだ、授業計画を立てるうえでネアーカイブを組み込むことに課題があると思われるが、まずは職員出前講應の利用を促すことで文化財担当職員が敬職員の要望に応じたアーカイブの活用が法を提挙する等、敬職員の負担軽減を踏また場外組みが必要であると考える。一方、活用に至って、おり、「本財、「大学」という。
									445	目標値	11,500 2,036	12,500 32,985	13,500 44,967			用方法を提案する等、教職員の負担軽減を踏まえた取り組みが必要であると考える。一方、活用に至った授業での小学生の利用満足度は93.7%と高いため、利用につなぐことができれば積極的な活用は見込
								間アクセス数	 I	達成率	18%	264%	333%			めるものと考える。
文化財デジタルアーカ								**************************************		目標値	20	30	40			
4 イブ推進事業								文化財デジタルアーカイブの利 用満足度	%	実績値達成率	94.8	95	94			
										建成华 目標値	4/45	318%	234% 6			
								小学校郷土学習での利用数	校	実績値	2	1	2			
										達成率	50%	20%	33%			
								郷土学習が楽しいと感じる小学	5	目標値 実績値	20 87.5	30 94	40 91			
								生の割合	•	達成率	438%	314%	228%			
版南市の退休施設を 利活用した企業誘致 移住返去でかった 受入道・複数編集系				16,056,000	0					目標値		4	5	5		【事業内容】 - 1. 市内外事業者交流会の開催
		は (注 まちの活力創造課 5 (R6:シティブロモーション推進課)						サテライトオフィス等施設を利用 する企業数	社・団体	実績値		2	2			1. 市内外事業者交流会の開催 - 市内外事業者が交流し、恵見交換を行う場を提供。 - 2. 全国性み故題の多拠点コリピング (co-living) サービスへの拠点登録準備
										達成率		50%	40%	0%		・定額制の全国コリビングサービスと連携し、拠点施設としての登録を進める。 進出企業との新たな取組み
								サテライトオフィス等施設を利用	44.7714	目標値 実結値		4	5	5		選出企業と連携し、新たなプロジェクトや事業展開を推進。
								する企業における、所在都道府 県外の企業数	社·団体	美積値 達成率		0%	20%	0%		【事業評価】 1. 市内外事業者交流会
										目標値		540	1,080	1,560		· 年2回開催。
						0		サテライトオフィス等施設の利用 者数		実績値		45	70			・会場は西島取漁港のカキ小屋を活用。 ・参加者が組織の課題や連携策について意見交換。
										達成率		8%	6%	0%		- 参加者が組織の課題や連携策について意見交換。 - しかし、意見交換後の具体的な結合と取組みにはまだつながっていない。 2. 多独点コリビングサービスの拠点登録学
								サテライトオフィス等施設の利用 者における、所在都道府県外の 利用者数の割合	96	目標値		34	44	55		・これまでWi-Fi環境が不十分だったが、回線工事を実施し改善。 ・「ADDRESS」との契約を進め、R7年4月の運用開始を目指す。
										実績値		22	34			・万博を契機に府外からの利用者増加を図る。 13. 進出企業との取組み
										達成率		65%	77%	0%		・進出企業「ハンナンテ」が茶畑を拡大。
								20 /+ 34	Ι.	目標値 実結値		3	6	10		- 年間イベントの増加に伴い、本施設への来場者も増加。 - 今後は体験型コンテンツの充実を図り、施設の付加価値向上を進める。
								移住者	Α.	実績値達成率		0	0	0%		
										建成华		1 3%	UN.	J/h		H. Comments of the comments of

地方創生テレワーク交付金・デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の実施状況等(令和6年度実績)

		地力側エナレノークズド並・ナンテルロ國都中国条件が文化並を右用した学来の天地ががずくり和0千度: ***********************************								【令和6年度】				
事業名	事業概要	担当課名	R3決算 R4決算 R5決算	R6予算	R6決算		単位		R4年度末			末 R7年度末	R8年度末	事業内容と事業評価
	市立教育・保育施設(市立幼稚園及び保育所)に保育業務支援システムを導入し、保護者と教諭・保育士等が子どもの健康状態等の必要な情報を双方向で					保育業務支援システム(アブリ)	-	目標値	***********	70	_	90		保育業務支援システムを導入から1年以上が経過し、保護者のアプリダウンロードは100%で推移して おります。お知らせ一斉配信回数のとおり、保護者及び職員の双方において利便性向上に大きく貢献し
	リアルタイムに正確に伝達するとともに、教諭・保育士等による保護者への連絡 や帳票等の業務負担を軽減し、子どもと向き合う時間を増やすことで、教育・保					のダウンロード率	96	実績値達成率		100 1435		0%		 はます。 ・放論・保育士等においては業務の効率化が図れ、教育・保育の質向上に繋がっていると考えます。
6 南立教育·保育施設 保育連境向上事業	育の質の向上はもとより、子どもの健やかな成長に注力できる環境を整備する。	1						建成华 目標値		10		75		また保育業務支援システム利用者(保護者)満足度に関しても満足、やや満足が87%以上となった結果 から、利用者の利便性向上に繋がった結果と考えます。
		こども政策課				お知らせ一斉配信回数	回 (4施設合計)	中体体		80	_			一から、利用者の利民は同工に素がりた相来と考えます。
				0 1,342,000			(TABLE MIT)	達成率		8009		_		
			10,429,540		1,341,120	0 保育業務支援システム利用者 (保護者)満足度		目標値実績値		3.0	3.5 4.5	4.0		
			10,429,540		1,341,120			美模領		1435		0%		
								福湖鎮						
								庚級値						
								達成師						
								日初鎮 庚級値						
	本市は、高齢化率が34%を超え、府内市町村で6番目の高齢化が進むまちと					************		目標値			1,250	3,264	3,312	【事業内容】 ・タブレット端末による調査表作成支援サービス
	なっている。要弁護認定の申請者が年々増加しているため、適可で迅速な介護 サービスの利用。関けることが認定の認定なっていているでしなが、ま弁護認定までにまずる目数が長期代によっせんが担供できる。 しかしくがが、ま介護認定業務では、生まりる目数が長期代によっせんが担供できる。 もう、果介護認定器所のが化を維まするとにはって、実介護認定を活動であった。 また例せて、要介護認定と関連して実行ってよってイフレットと乗りするもの。また例せて、要介護必定を消費して実行ってよってリージャントを乗ります。 また例せて、果有のデジタルにより、認業員の事情作者の効果や化にも取り組 しものとする。					調査員支援システムを活用した 調査票作成件数 申請から認定に要する日数	В	実績値			1,091			選択項目等のAIチェック機能 特記事項のテンプレート活用による効率化
		5						達成率			87%	0%	0%	特配等項のアンフレート活用による効率化 入力データのアップロードによる調査票作成 スケジュール管理機能
								目標値			36	33	30	画面転送型アプリによるセキュリティ向ト
								実績値			41			※これらの取組によって、認定調査時間を縮減し、高齢者負担を減少させることで、市民サービスの向上 を図る
								李模理 達成率			1135			- ※標準化した調査票を作成し、調査員の感覚によらない公正公平な調査票を審査会に諮ることができる
													0%	- ※システム化することにより、今後の介護予防や給付見込みシミュレーションなどが可能となることで、市
高齢者自立支援介護						要介護認定者における重度者の割合		目標値			26.5	_	26.4	民の健康寿命の延伸と適正な介護保険運営が可能。 - 【事業評価】
7 に向けた認定調査デジタル化事業				13,233	12,839	の割合		実績値			25			タブレット端末による調査表作成支援サービスを導入することで以下の3点の効果と申請から認定に要する日数の短縮を図った。
770044								達成率			94%	0%	0%	① 認定調査票、特記事項の品質向上 ② 認定調査員及び認定審査会の事務作業効率化
								自衛値						③ セキュリティ向上 ④申請から認定に要する日数
								庚級値						R6 KPI:36日 実績:40.65日(R6.11~R6.12) ※最短14日
								達成率						
								自療値						
								庚級値						
								李成章						
	阪南市のGIGAスクールビジョンのもと、一人一台端末を利用した、「個別最適							目標値			70	80	100	<事業内容>
	な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、児童生徒の学力の向上を図 る。また、自ら課題を発見し、課題を解決するための発信する力、比較検討する	図る 学校教育課				小学校全体学習支援アブリの 一日当たりの利用率		実績値			76			 市内小中学校12校で共通の学習支援アプリを導入し、タブレット端末の効果的な活用方法について市内全教職員で調査研究し、子どもたちの学力向上をめざしている。アプリを活用し、子どもたちが自分の意
	力、考えを深める力などを養うためのICT関連の環境を整える。			6,881	6,913	中学校全体学習支援アプリの 一日当たりの利用率	%	達成率			109%		0%	考えをまとめ発表することや、教員から子どもへの一方通行ではなく、双方向で授業をすること、子どもたちが画面で情報を共有し、自分たちで学びあう協働学習を実施している。
								目標値実績値			60	80	100	SA MINI CHARLENGO CENTRO CETO OS TIMOS PER EXAMENTE E EXAMENTE O
								美積値 達成率			73 122%	0%	0%	- <事業評価>
								目標値			60	75	85	(10Aスタールビジョン権進担当者連絡会にて、各校の実践している効果的な学習支援アプリを含めたタ プレット端末の活用方法について共有した。市内の教職員が共通して利用できるアプリ内の資料指で、一 人ひとり教員が実践した授業を共有できるようにし、より数果的な活用について研究を重ねることができ
8 GIGAスクール推進事 業						3 小学生アンケートでの肯定的回答の割合 中学生アンケートでの肯定的回	96	実績値			94			─ 人ひとり教員が実践した授業を共有できるようにし、より効果的な活用について研究を重ねることができ ている。今後もより良い活用方法を研究し、子どもたちの学力向上につなげていきたい。
								達成率			157%	_	0%	
							96	目標値実績値			40 85	60	80	-
						答の割合	70	李根祖 達成率			213%	0%	0%	-
								接機棒						
								宗教植						
	阪南市のプログラミング教育の問題を解決するため「プログラミング教育の楽 しさな体験できるような低学率からの段階的な指導計画」にそったプログラミンク 教材を市で一括線人、一定期間の中間、出しずらともに、使用力等 力法等も含め巡回指導まには公民館創産として行うことにより、プログラミング 教育の一層の程度を図り、子ともたちデジタル機能を一層身近なものと感じ、 デジタル社会を担う人材育成を図ることもできるものである。							達成等						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		ッグ 導		1,986		小学校(生)向け巡回指導及び 貸出回数	0	目標値実績値			8	10	12	 研修、出張授業の後実施したアンケートの結果によると、満足 度が非常に高かった。 満足度・・アンケート(①: 本日のプログラミング教育の授業(研修)は楽しかった。(良かった): において、5段階評価の5・4の割合で、全事業の平均 95.5%
								達成率			125%	0%	0%	UKXPB計画のUT+の割点で、王争来の平均 80.0%
								目標値			1	3	4	
						中学校(生)向け巡回指導及び 貸出回数	D	実績値			2			
								達成率目標値			200%	0% 4.0	0% 4.5	香号質問項目 だいんほう 思う 普通 ast Plototo 上く思わない
						7 受講者の満足度	点	目標値 実績値			3.5 4.8	4.0	4.5	- 1プログラミングの授業は楽しかったですか。 88 15 7 0 0
						文明省切别定区	_	達成率			136%	0%	0%	2 プログラミングの検集をもっと受けたいと思いますか 71 26 10 3 0
						M		目標値			5	8	10	
						論理的思考力の問題の正答の 上昇率	96	実績値			4			3 プログラミングのことをもっと知りたいと思いますか 60 33 15 2 0
								達成率			80%	0%	0%	- 4プログラミングやNOTは将来役に立っと思いますか 54 40 13 3 0
								归溯籍 庚級籍						5 快頭してもあきらの手術報できましたか 47 47 15 1 0
								建成率						1 1 1 1
		1										************		#